

第2回合同現場見学会

復興工事調整会議では、復興工事を円滑に進めるだけでなく、住民のみなさんの理解も深めていただくよう、合同見学会を行いました。

復興工事調整会議では、復興工事を円滑に進めるだけでなく、住民のみなさんの理解も深めていただくよう、合同見学会を行いました。

復興工事調整会議では、復興工事を円滑に進めるだけでなく、住民のみなさんの理解も深めていただくよう、合同見学会を行いました。

当会議による2回目の合同見学会が昨年の11月30日に開催されました。

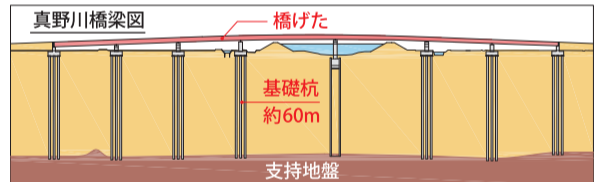
「復興を感じられた」



【不動町産業用地】復興まちづくり事業に伴い移転を与儀なくされる事業者の移転先として、石巻市民会館跡地に整備を行っている。



【旧北上川堤防】工事工程や使用している施工技術などを説明



【国道398号石巻バイパス真野川橋梁】市街地の渋滞解消に大きく期待される広域幹線道路。真野川橋の橋脚周辺で、工事工程・進捗についての説明

近所の人にも現場見学会を勧めたい！

参加したのは、事前公募に申し込まれた方々で、工事進行中の旧北上川堤防工事や真野川橋梁などの現場で工事進捗等について担当者から状況を聞きまし

た。参加者からは次の声が寄せられています。

〈参加者のみなさんの声〉

- 関係者以外は立ち入ることができない復興現場に入れて何をやっているかがわかった。
- 復興を感じられ、なかなか良い合同現場見学会だった。
- 基礎杭(約60m)も打っていることに驚いた。だから時間がかかるんだね。(真野川橋梁)
- 何もない所に物が出来上がる喜びと感動を味わえた。
- 土地勘がなくても丁寧に説明してもらえてわかりやすかった。
- 防潮堤・避難ビル・避難タワーも見みたい。
- 近所の方にも現場見学会を勧めようと思う。また参加したい。

建設機械の運転席を体感！

北上川フェアと同時にイベント

復興工事調整会議の取り組みを市民の皆さんに発信する「リバイブいしのまき」を昨年10月8日、北上川フェアと同時に開催しました。

開催に当たっては、宮城県建設業協会石巻支部に後援いただき、建設機械の展示にご協力いただきました。

取り組みをパネルにした展示ブースや、北上川の現在と未来を見ることができ、VR(バーチャル・リアリティ)など様々な形で復興工事について知っていただくことができました。



パトロールカー、ダンプトラック、バックホーなど普段は乗れない働く車に大興奮！

お子さまにはミニバックホーやダンプトラックの試乗コーナーが大人気でした。雨にも関わらずたくさんの方に来場いただき、復興工事について理解を深めていただくことができました。

2016
リバイブ
いしのまき

第3回

コラムリバイブ

命と生活の架け橋をつくる

内海 五郎兵衛

中瀬を挟んで旧北上川の兩岸を結ぶ橋には、内海橋と名付けられています。今号は、どのようにして橋が作られ、内海橋になったのかを、辿ってみます。

1841年、牡鹿郡水沼村(現在の石巻市)に生まれた内海五郎兵衛は、幼いころから働き者で強い意志を持った子どもでした。

五郎兵衛が24歳のとき、父が亡くなりました。暴風雨のせいで北上川を渡れず、医者を連れてくることのできなかったからです。

それからというもの、五郎兵衛はなんとか北上川に橋をかけたいという思いで一生懸命働きます。

橋を架ける権利を手に入れはしましたが、反対派の人もいたため、なかなか県令(県知事)の許可が得られません。しかし五郎兵衛は粘り強く人々の説得を続け、つい

1882年に橋づくりの許可を手に入れます。

川幅の狭い中瀬を利用して橋をかけることにした五郎兵衛は、自分たちの生活を極限まで切り詰めて資金を作り続け、とうとう橋を北上川にかきました。橋を作りたいと願った日から十七年もの歳月が流れていました。

県令は五郎兵衛の立派な仕事をたたえるため、その橋に「内海橋」と名付け、村人もその完成を大いに喜びました。



参考文献：みやぎの先人集「未来への架け橋」内海五郎兵衛-命と生活の架け橋をつくる-(宮城県HPより)

2月1日 3月8日 高校入試 受験生に配慮 隣接工事 休工など実施

石巻市街地における工事調整ガイドラインでは、交通安全、騒音、振動、粉じん、道路汚損などに配慮して作業を行うこととしていますが、あわせて地域自治会の祭りなどのイベントや学校行事についても配慮を行うこととしています。

環境の中で受験をさせたい」との高校の要請を踏まえ、施工業者に対して高校の前期選抜学力検査(2月1日)及び後期選抜学力検査(3月8日)が円滑に実施できるように隣接工事の休工や運搬車輛の経路の見直しなどを実施しています。

当会議では、引き続き市民生活環境に配慮し、工事を進めます。

お知らせ

ご愛読いただいております広報紙リバイブいしのまきは諸事情により次号から配布方法を「全戸配布」から「班回覧」に変更いたします。一層紙面充実を図りますので、引き続きのご愛顧をお願いいたします。